



# 農業改良 普及センターだより

日付けで、中丹東1  
農業改良普及センター所長を拝命いたしました。軽野豊い  
一でございます。よろしくお願ひいたします。

平成27年4月1日  
農業改良普及センターでは特産万願寺甘とうの振興、担  
地域で早急に解消が必要な7課題を決定します。  
中丹東及び西農業改良普及センターでは特産万願寺甘とうの振興、担  
地域で早急に解消が必要な7課題を決定します。  
また、農業経営を飛躍的に伸ばしたいと、新規事業を創設しました。  
さらに、農業経営を飛躍的に伸ばしたいと、新規事業を創設しました。  
御理解と御協力をお願いいたします。

ごあいさつ



## 普及センターが取り組む 7つの普及重点計画



京都府中丹広域振興局農林商工部

◆発行◆  
2015年(平成27年)8月

にし  
中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91  
TEL 0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

ひがし  
中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁畠10-2  
TEL 0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

“築いていくこう 差別のない 明るい社会”



ごあいさつ

この4月1日に、

中丹西農業改良普及センター所長に着任いたしました小宅でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

普及センターは農業技術や農業経営の支援を中心に、担い手育成、ブランド振興、6次産業化、安心・安全な農産物の推進などに取り組んでおります。

今後も、皆様の農業所得の向上につながるよう、御支援・御協力をさせていただきますので、お気軽にお声かけください。

## ②若い担い手の育成

農村地域では若い担い手が求められる中、新規就農者が徐々に増えています。

就農10年未満の若い農業者の経営安定を図るために、経営計画の作成と実践、点検、見直しを、2年サイクルで支援します。また、平成26年に結成された「にのくに茶業青年団」の活動も支援します。

## ③地域農業を担う法人の経営支援

中丹地域には21の集落型農業法人が設立され、京力農場プランの中心的な担い手となっています。

これらの組織の経営では安定生産が重要です。栽培技術や品目間の作業競合の調整、作業従事者のスケジュール管理が必要となります。これらの課題解決を総合的に支援します。

中山間地域では過疎・高齢化が進んでいます。このため、都市住民との交流や移住の促進、特産物の育成などによる地域の活性化が必要です。

地域の農産物や加工品等を活かした地域ビジネスの活性化や、特産物として山ブキの省力的生産を通じた集落活性化のモデル育成を図ります。

## ④京力農場プランの実現による地域農業の維持・発展

農業者の高齢化等により耕作放棄地が拡大しています。こうした中、集落の農地を担い手に集積するために各地域で話し合いが行われ、中丹3市で51件の京力農場プランが作成されています。

今後は新たなプランの作成支援に加え、プランの「実践」支援にも活動範囲を広げます。

## ⑤地域特産物の振興による地域の活性化

近年の米価下落により特色ある米づくりが求められる中、酒造業界からは酒米「祝」「五百万石」、掛米「京の輝き」の増産・安定供給が求められています。

## ⑥「万願寺甘とう」「黒大豆枝豆」の産地強化

ブランド京野菜の「万願寺甘とう」と「黒大豆枝豆」は、中丹地域の重要な特産物で消費者の人気も高く、生産振興を図っています。

両品目をブランド産地として安定生産していくために、栽培経験の浅い生産者を中心に栽培技術習得に向けた支援や規模拡大のための省力化栽培を検討します。

## ⑦特色ある米づくりの推進

近年の米価下落により特色ある米づくりが求められる中、酒造業界からは酒米「祝」「五百万石」、掛米「京の輝き」の増産・安定供給が求められています。

このため、栽培技術や生産・出荷量の安定、さらなる品質向上に向けて適正な管理や防除を支援します。また、省力的施肥の試験なども行っています。

# クローズアップ中月

Vol.1

～様々な角度から頑張る方々を紹介～

## 地域で活躍する農業士

舞鶴市西方寺平で息子とともに、採卵鶏を中心とし、水稻、野菜を生産しています。特に採卵鶏では、自家生産の飼料米や赤く熟した万願寺甘とうなど安心・安全なエサにこだわった卵を直接配達しています。

近年、私の地域では、農家後継者や地域外からの若い担い手が定着して非常にうれしく思っています。これからも若い担い手の参入や定着を支援していきたいと考えています。



泉 金雄さん  
(舞鶴市西方寺)

## 担い手養成実践農場 研修修了者に聞く

農大在学中は畠地での野菜栽培を学びましたが、研修先は水田転換畠でした。就農前2年間の研修中に排水対策を試行錯誤できることが今に活きていていると実感しています。



平成25年就農  
平田 将海さん  
(綾部市白道路町)

経営内容  
(26年度)

- ・万願寺甘とう 12a
- ・ホウレンソウ 3a
- ・エビイモ 33a
- ・水稻 55a
- ・集落営農オペレーター

農業は収入の波が激しく大変ですが、経営の柱を増やすよう新たな品目にもチャレンジして頑張ります！

## ○○さん家の お料理レシピ

綾部市生活改善グループの皆さんにお聞きしました。



## 「シャキシャキ 水菜のテデミ」

材料(3~4人前)

水菜	150g
人参	100g
★薄力粉	100g
★片栗粉	50g
★卵	1個
★水	150cc
★塩	小さじ1/2
★桜エビ	大さじ1
★いりゴマ	大さじ1
ゴマ油	大さじ1
ポン酢	お好み

- ①水菜は2~3cm位の長さに切る。ニンジンは薄い千切りにする。
- ②ボウルに★の材料すべてを混ぜ合わせる。  
①の水菜とニンジンも加えて混ぜる。
- ③よく熱したゴマ油で、生地を焼く。返して、両面をこんがりと焼く。



冷めてもおいしく、お好みで  
ポン酢をかけて  
お召し上がりください

## 京力農場プランではばたく地域

### 草壁集落 (綾部市上林地区)

現状  
(26年度)

- ・中心となる担い手 5戸+1組織
- ・水田面積 8ha

集落の田を自分達で守るために、平成24年に5名で「草友会」を結成しました。また、関係機関から京力農場プランの策定を勧められ、「これは担い手のやる気次第だ！」と思い、草友会が中心となって将来像を検討しました。

「優良農地を守ろう！」を合い言葉に担い手への農地集積を進め、高収益作物として万願寺甘とうの栽培を始めました。集落の女性陣には赤ジソを作つてもらい集落内の梅を原料とした梅干しの販売を開始します。集荷場を改装し惣菜業の認可も得てあります。住民一人一人の得意分野を活かした6次産業化による地域活性化を目指しています。



赤ジソの葉とり



草壁集落のみなさん

## 中丹地域農業基礎講座の受講生募集

就農希望者や就農して間もない方を対象に、農業基礎講座を開催します。

講座は、土壤・肥料の基本や病害虫防除、地域特産物の栽培・経営概要、先輩農家の話をなどを10月中旬～12月中旬に5回実施します。

●募集期間

8月3日(月)

～8月31日(月)

●問い合わせ

最寄りの普及センターまで



## 農作物の残留農薬基準が変わります

みなさんが使用されている登録農薬の使用基準が、今後変更になる場合があります。

これは残留農薬に対する評価の見直しがあり、「急性参考用量(ARfD)」を超えないかという点についても評価(「短期暴露評価」という)されることとなつたためです。農薬工業会では変更の都度、その内容を公表することにしていますので、公表後は新たな使用方法に基づいて使用するようにしてください。



詳しくは、京都府HPを参照下さい。  
<http://www.pref.kyoto.jp/shokuanzenbosai/news/documents/tankibakurohyoka.html>

## 磨きぬいた伝統技術を伝えていきませんか？ 京都府農山漁村伝承技能登録の募集

京都府では、「農業」「林業」「漁業」の各分野で豊かな経験と実践により磨かれた伝統的又は優れた生産・生活技術を次世代に継承するため、技術をお持ちの方を登録しています。(例：栽培技術に長けている、伝統的な手法や技術を保持している等)

65歳以上で府内在住であれば、自薦、他薦は問いません。

●募集期間

8月3日(月)～8月31日(月)

●問い合わせ

最寄りの普及センターまで



## この秋も農作業安全で

府内で農作業死亡事故が発生しています。今一度、安全対策を重ねましょう。

- 1 集中力は続かないことを前提に、リラックスできるよう睡眠、休憩を十分にとりましょう。
- 2 「あの時もうちょっと注意すれば」が負傷者の第一声。手抜き動作(機械を止めずに手を入れる等)をしない努力を。
- 3 コンバインでの事故はバック時、ほ場への出入り、畦乗り越え時に多発。この時こそ安全の再確認と集中力を。

## 食育活動 小学校で「万とう」教室

平成17年に食育基本法が制定されて10年が経過し「食育」という言葉も徐々に耳になじんできました。中丹広域振興局農林商工部では7月、9月に、管内の小中学生の子どもたちを対象に、地域特産品である「万願寺とうがらし(万願寺甘とう)」を題材にした食育学習を行っており、普及センター職員も出前授業として講師を受け持っています。

授業では、京野菜の中での万願寺甘とうの位置づけなどについてスライドを使ってわかりやすく紹介しました。

今後も、健康な食生活を送るために、食品の選択や安全性、さらには農業との関係を学ぶ活動を支援していきます。



“農薬はラベルをよく見て、安全に使用しましょう”